

# コロナ渦の今 教会を考える

使命に沿った  
あるべき教会の  
姿とは？



# 【今日のアウトライン】

## I. 教会の今

withコロナで問われること

## II. 聖書的教会とは？

## III. 制度的教会の歴史

## IV. 使命から考える教会のありよう



# I. 教会の今 withコロナで問われること



# 【参議院予算委員会 資料から】

2020年7月16日

児玉龍彦医師

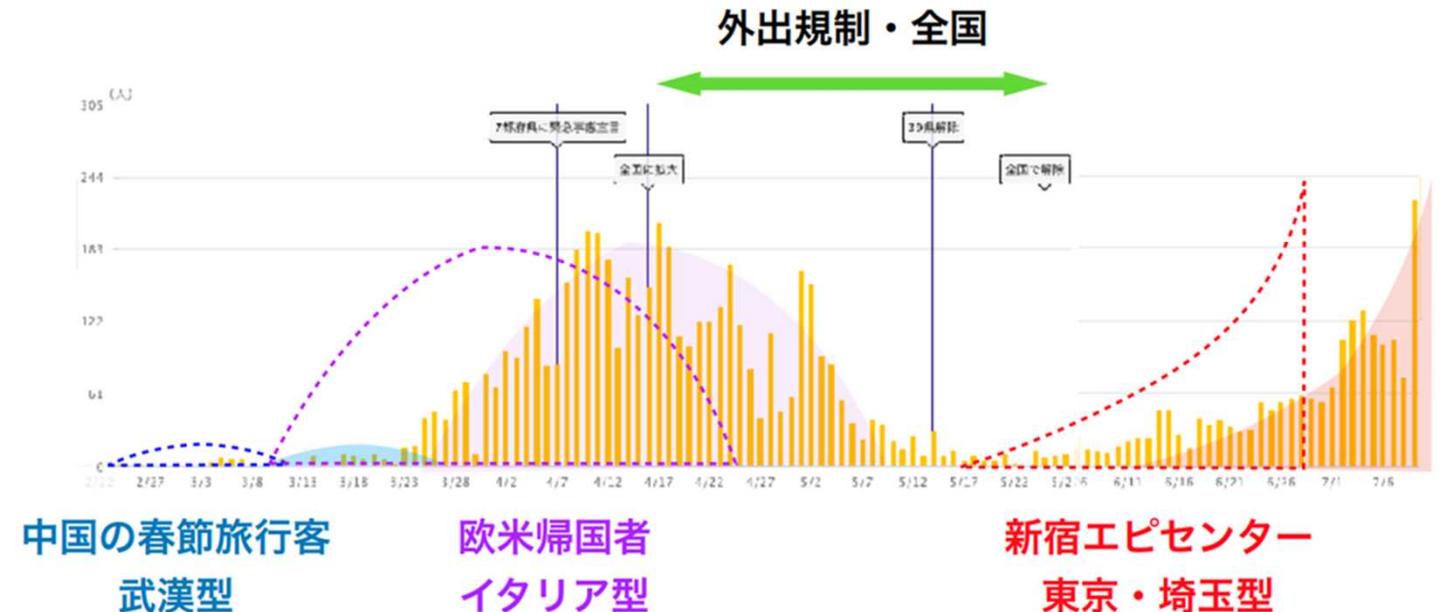
(東京大学  
先端科学技術  
研究センター)

## (1) 輸入感染から東京エピセンター（震源地）に

- ・ 感染してから、PCRの陽性まで、2週間のタイムラグがある。
- ・ 3月に東京で始まった感染（青）は、中国の春節の旅行者由来である。
- ・ 4月のピーク（紫）は3月の欧米からの帰国者がもたらした。

輸入感染は、自然に減り始めていたが無症状者で残存した。

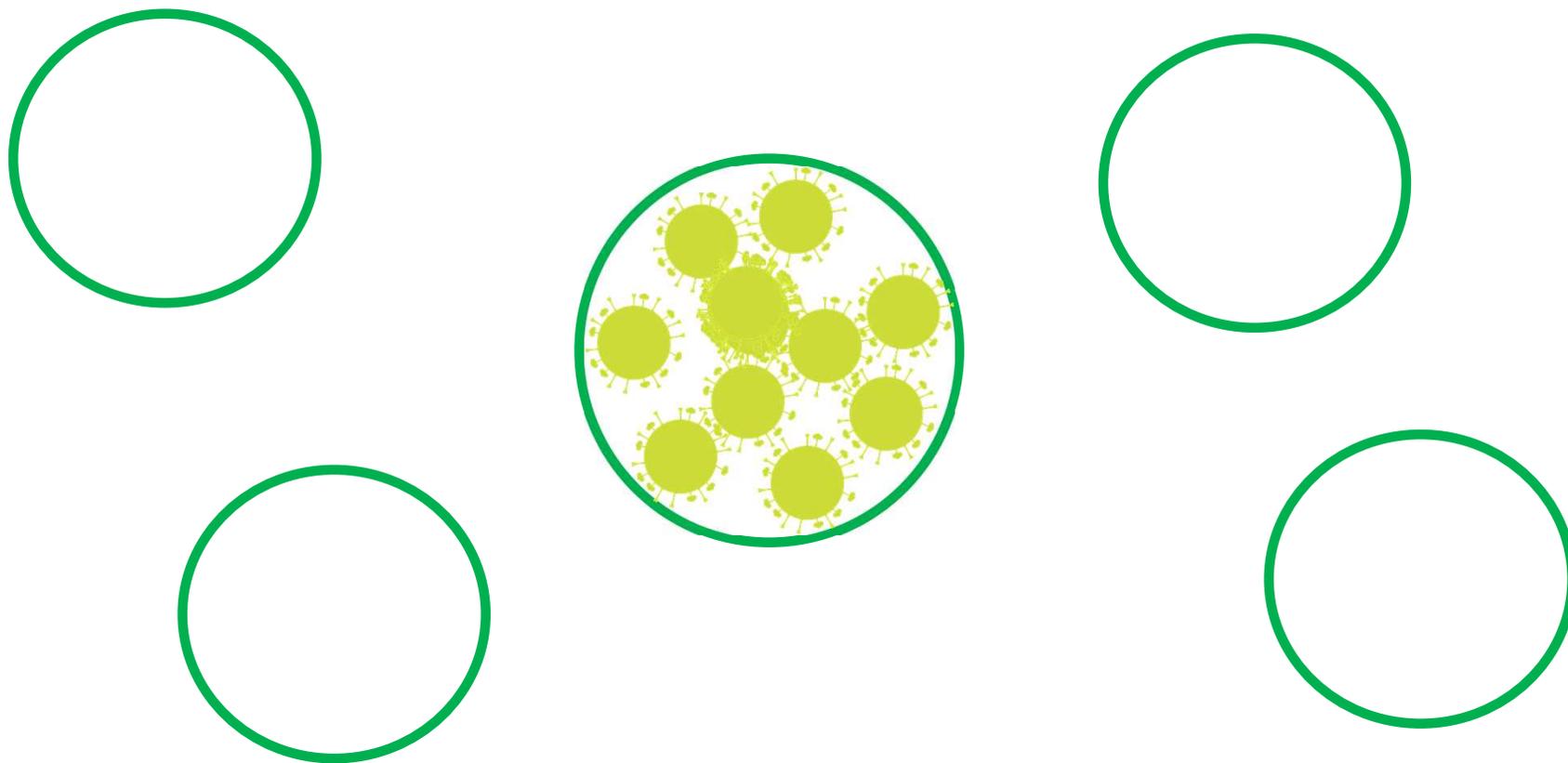
- ・ 6月からの広がり、無症状者が持続的に増え、特に免疫の出来にくいスプレッダーの増えた可能性。日本国内にエピセンターが形成されてしまった。 **悪循環サイクル**



## 【エピセンターとは？】

■ エピセンターとは、“震央(震源地の地表のスポット)。”

ある地域で、無症状の感染者が増え続け、エピセンター化すると、そこから、持続的に、周囲の地域に、ウイルスがまき散らされていく。



## 【コロナ渦の日本と世界の現状】

### ■ エピセンターが東京・新宿に!!

➡国内から国内に拡大していく段階に突入。  
これまでと比較にならない規模の感染に!!

### ■ 世界的に見るといまだ、第一波が拡大中!!

アメリカ、ブラジル、インド....。

### ■ 押さえた地域でも感染が再拡大!!

スペイン、イギリス....。



## 【コロナ渦のこれから・想定される最悪とは？】

“最善を尽くすために、最悪を想定する”

### ■収束に至らない!!

➡集団免疫にいたらず、有効なワクチンもできない。

### ■この状況が、ずっと続いていく!!

➡ウイルスが変異を繰り返し、流行が繰り返されていく。

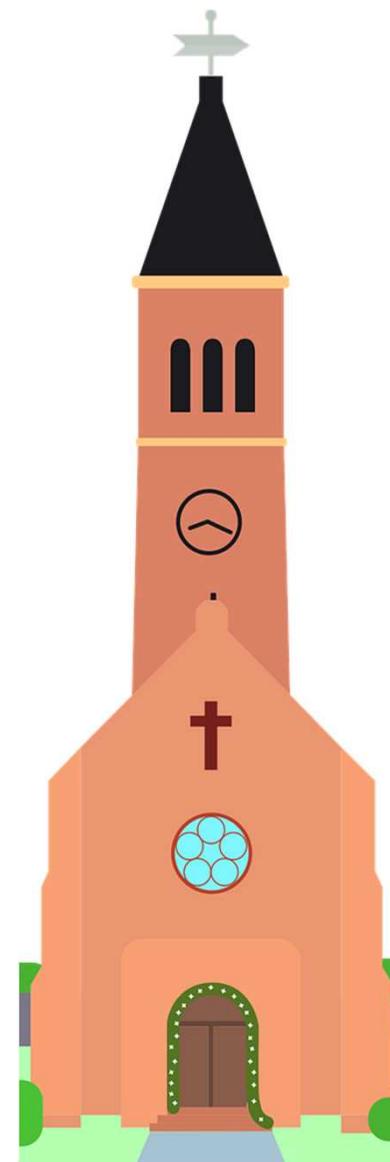
### ■生活も経済も、従来の形では、どうにもなりたたない!!

➡生活スタイル自体を、コロナに合わせていくしかない!!



## 【withコロナの教会の最悪を想定する】

- 超高齢化した教会は、コロナの影響が絶大。
  - ➡ 牧師や役員の高齢、死亡。担い手の急激な減少。
- 小人数の分散礼拝、ライブ配信が固定化。
  - ➡ 献金、礼拝出席の減少。
  - ➡ 従来の伝道が不可能に。➡ 教勢の低下が加速。
- 教会堂、教会組織の維持が困難に。
  - ➡ 無牧師の教会の増加。
    - 兼牧。教会の合併等が、都市部でも増加。
  - ➡ 教会堂の閉堂、宗教法人の解散も増加。
- 教派、教団単位でも、組織の維持が困難に。
  - ➡ 互助制度や年金制度の崩壊。神学校の閉鎖。



## 【withコロナの教会の最悪を想定する】

### ■ 超高齢化した教会は、コロナの影響が絶大。

➡ 牧師や役員の高齢、死亡。担い手の急激な減少。

### ■ 小人数の分散礼拝、ライブ配信が固定化。

➡ 献金、礼拝出席の減少。

➡ 従来の伝道が不可能に。➡ 教勢の低下が加速。

### ■ 教会堂、教会組織の維持が困難に。

➡ 無牧師の教会の増加。

兼牧。教会の合併等が、都市部でも増加。

➡ 教会堂の閉堂、宗教法人の解散も増加。

### ■ 教派、教団単位でも、組織の維持が困難に。

➡ 互助制度や年金制度の崩壊。神学校の閉鎖。



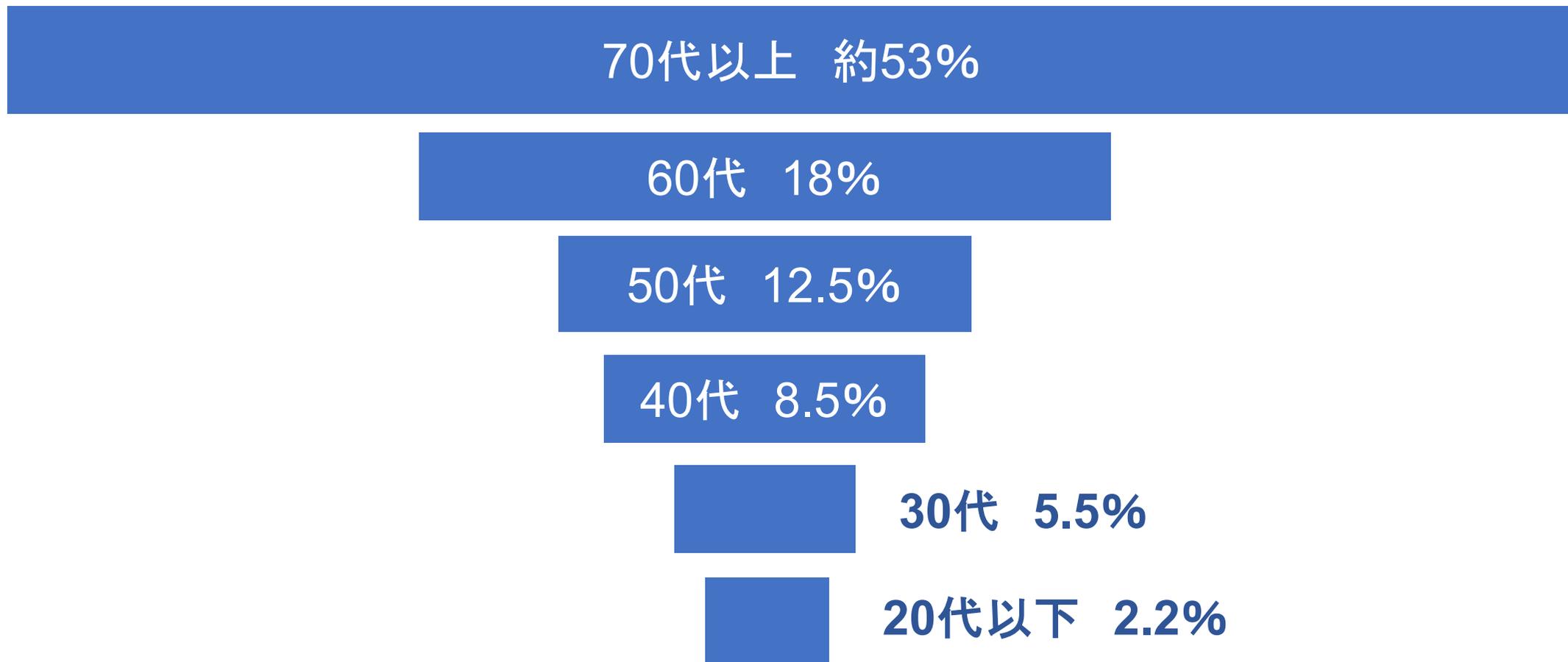
コロナによって  
教会の危機が加速!!

# 【日本基督教団 信徒の世代別構成 2014年データより】

グラフ タイトル



## 【日本基督教団 2020年の状況(推定)】



# 【日本基督教団 これからは？】

70代以上

60代

50代

40代

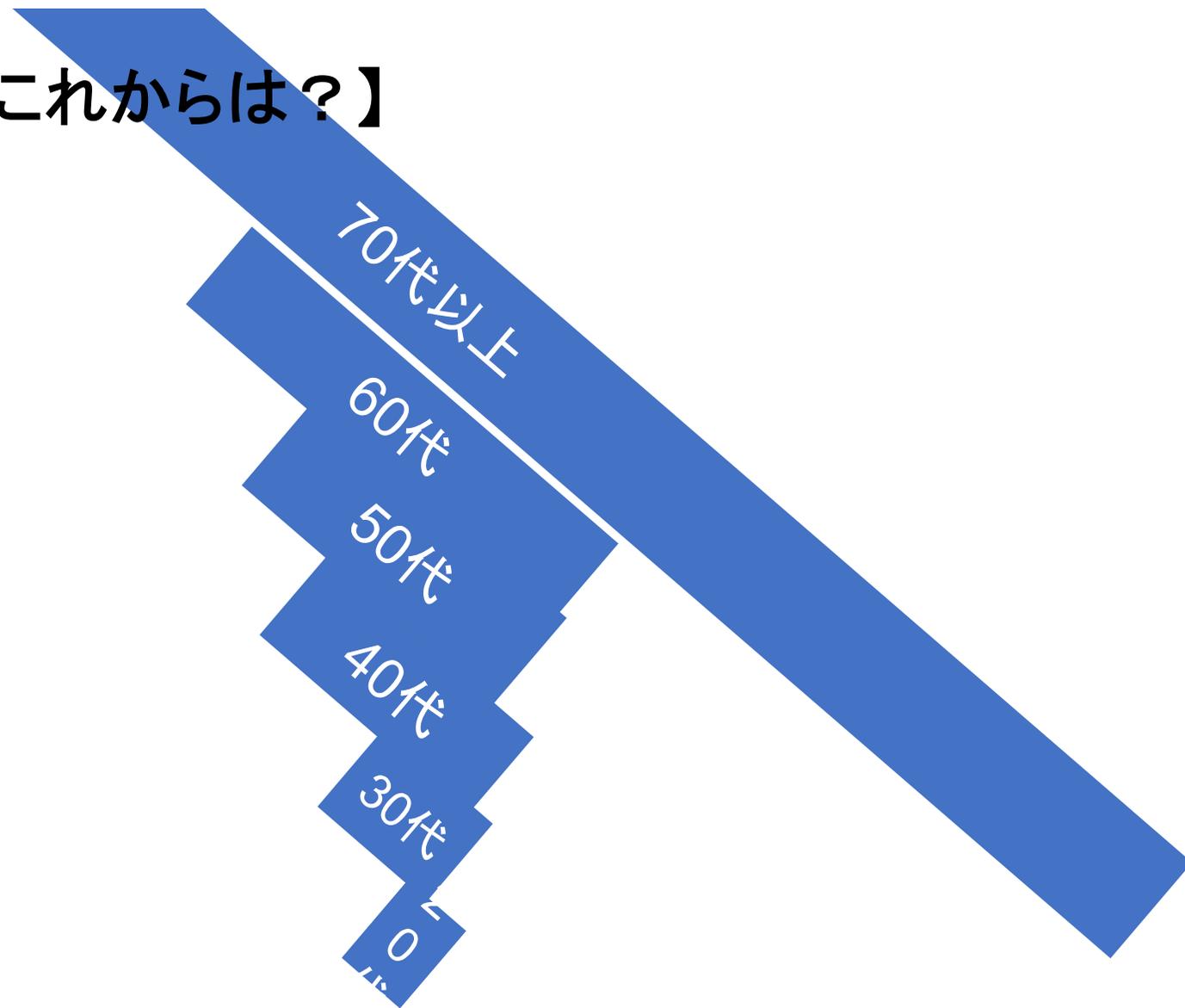
30代

20代

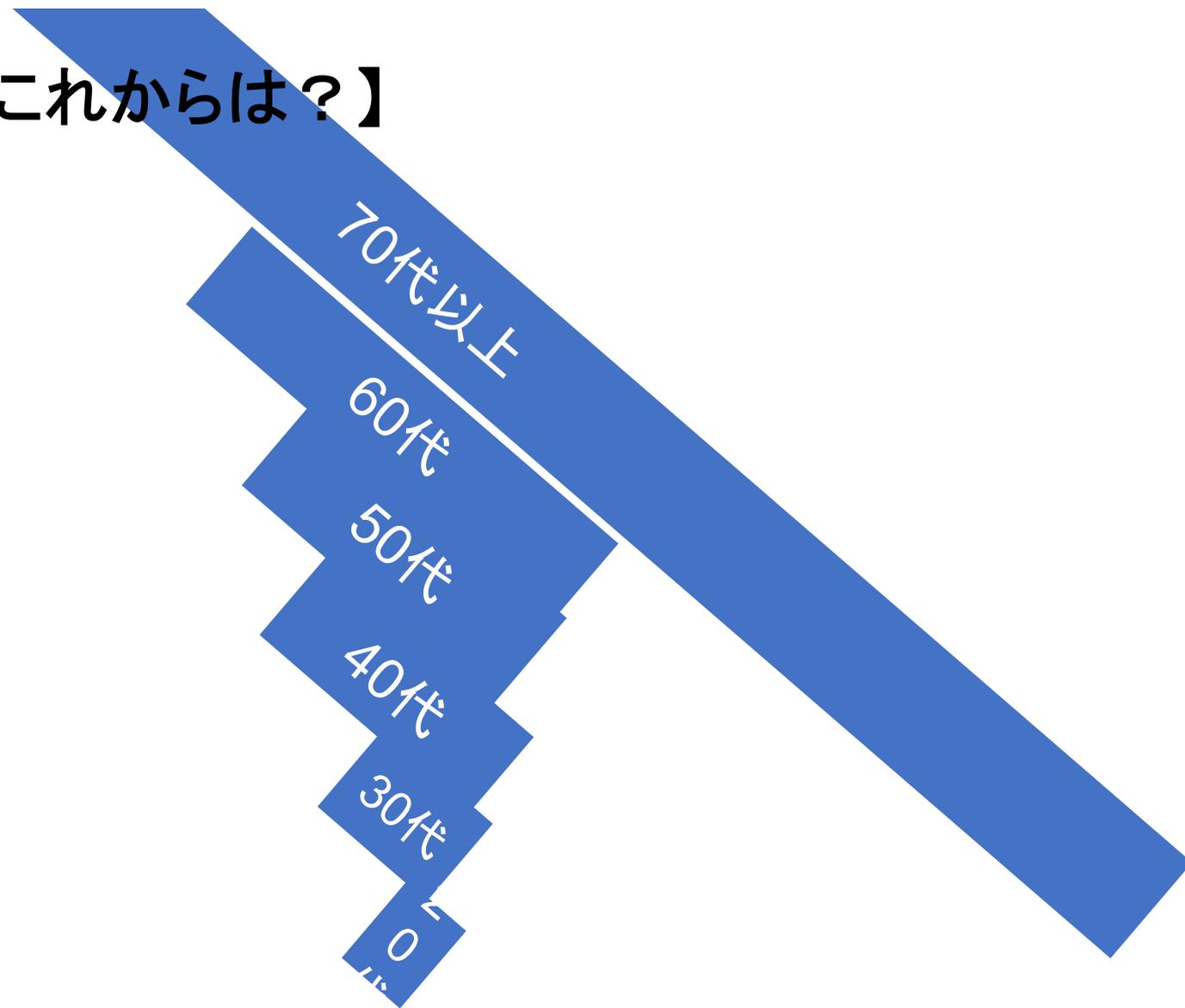
10代

0代

# 【日本基督教団 これからは？】



# 【日本基督教団 これからは？】



## 【今できる現実的な対策は？】

### ■伝道へ注力!!

- ➡だが、教会堂へ人々を集める伝道集会は困難。
- ➡ネットでの伝道は、広大な種まき。時間も労力も。地域教会に都合のいい刈り取りなど無理!!

### ■身の丈にあわない不動産の処分

- ➡必要最小限のコンパクトな会堂・集会所に移行。

### ■組織のスリム化

- ➡委員会活動などの廃止、縮小。必要最低限に。

### ■牧師に頼らない、牧会の体制作り

- ➡集えないところで、広範なケアを担い合う体制を



制度的組織的教会は  
かつてない危機に!!

## Ⅱ. 聖書の教会とは



## 【聖霊降臨】 使徒2:1~4

五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。

すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話した。

- 主イエスの復活から50日後。昇天の10日後。エルサレムで、弟子たちに聖霊が降った。



聖霊降臨により、  
教会が誕生

## 【教会の始まり】

### ①いつ？

...イエス復活から50日後の五旬祭。  
(ペンテコステ)

### ②どこで？

...家(エルサレム神殿)の一角で。

### ③だれが？

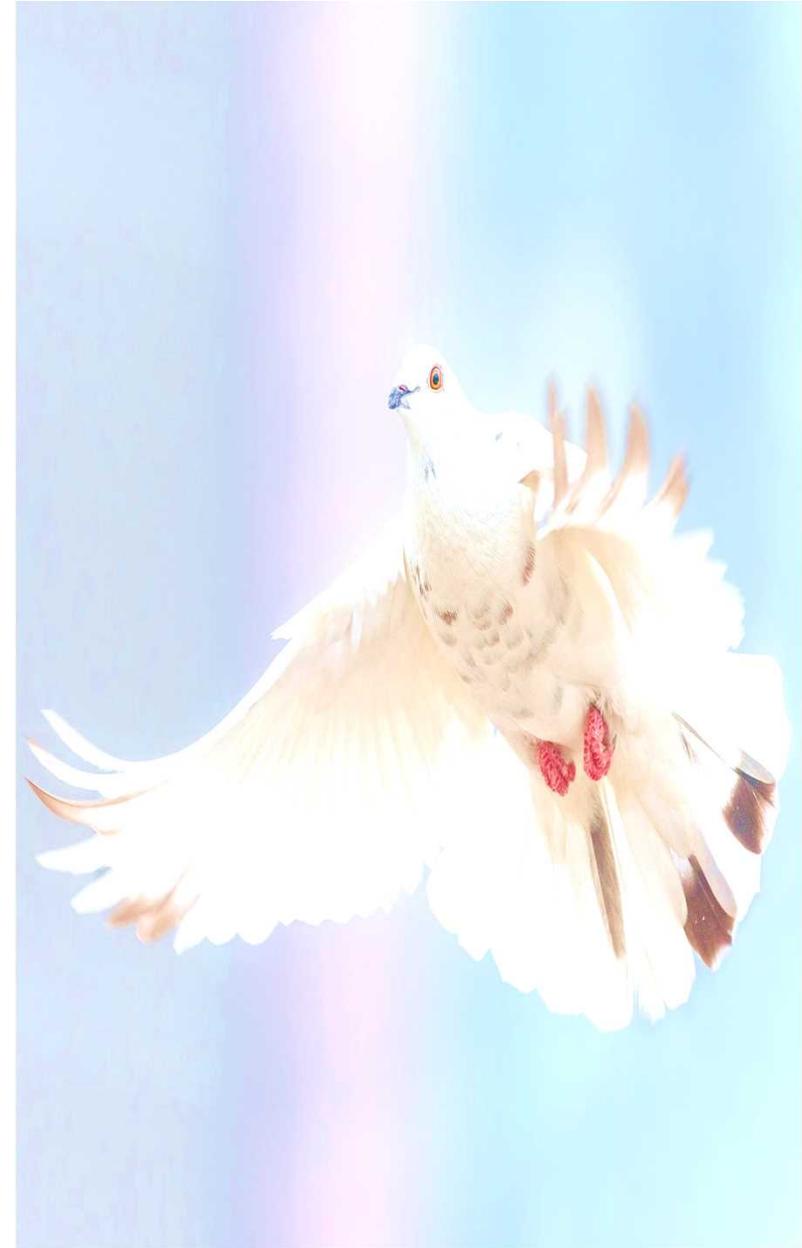
...120人の弟子たちに。

### ④どのようにして？

...聖霊が降ることで。

### ⑤何が起きた？

...教会が誕生した。



## 【教会の誕生】

最初の弟子たちは全員“ユダヤ人”

エルサレム教会も、“ユダヤ人の教会”だった。





【福音の広がり】

迫害により散らされたユダヤ人信者により、  
異邦人世界の“**離散のユダヤ人**”に、  
さらに、“**異邦人**”にも福音が伝えられた。

## 【教会は異邦人とユダヤ人による】 エペソ2:13～16

しかし、かつては遠く離れていたあなたがた(異邦人)も、今ではキリスト・イエスにあって、キリストの血によって近い者となりました。

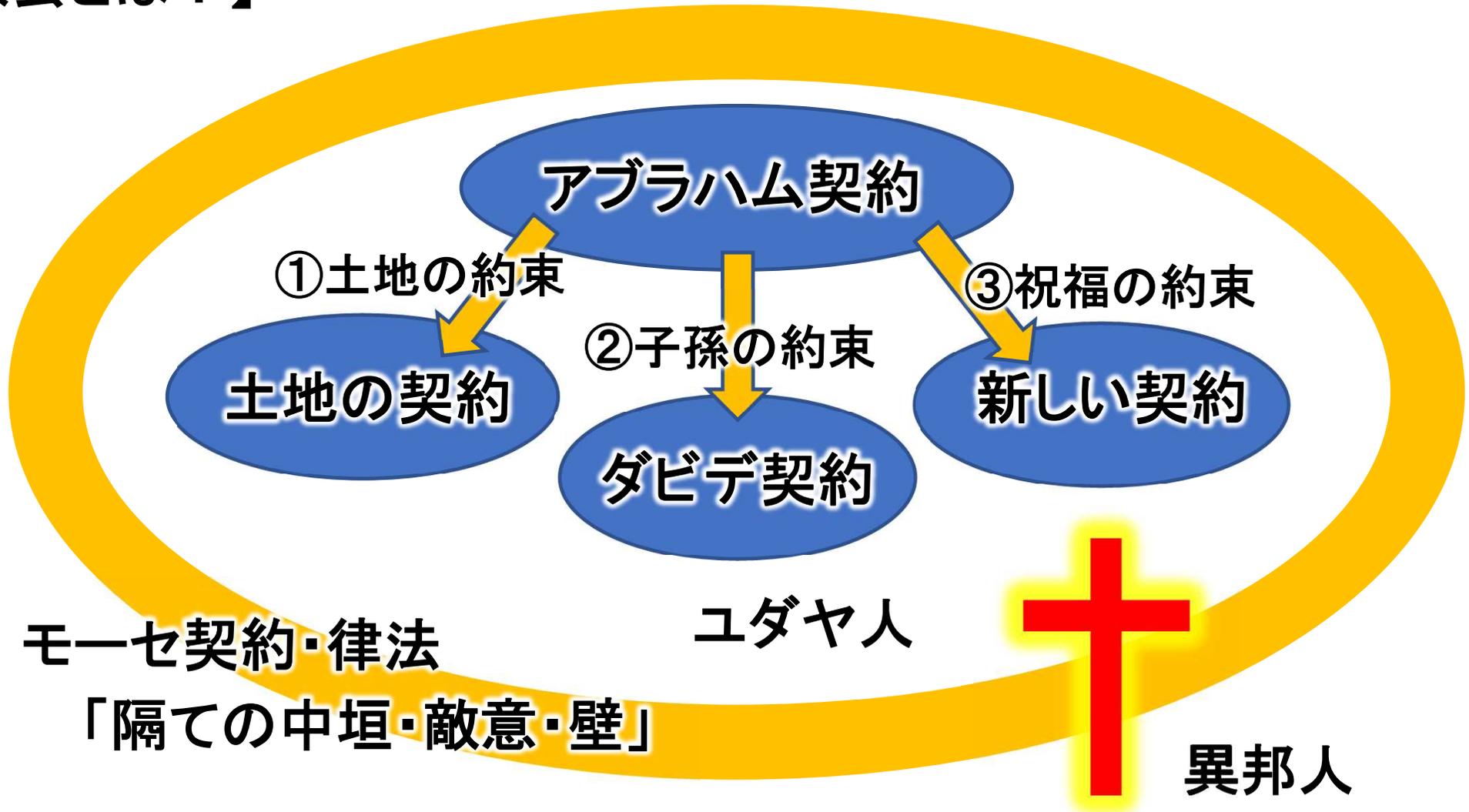
実に、キリストこそ私たちの平和です。キリストは私たち二つのものを一つにし、ご自分の肉において、隔ての壁である敵意を打ち壊し、様々な規定から成る戒めの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、この二つをご自分において**新しい一人**の人に造り上げて平和を実現し、二つのものを**一つのからだ**として、十字架によって神と和解させ、敵意を十字架によって滅ぼされました。



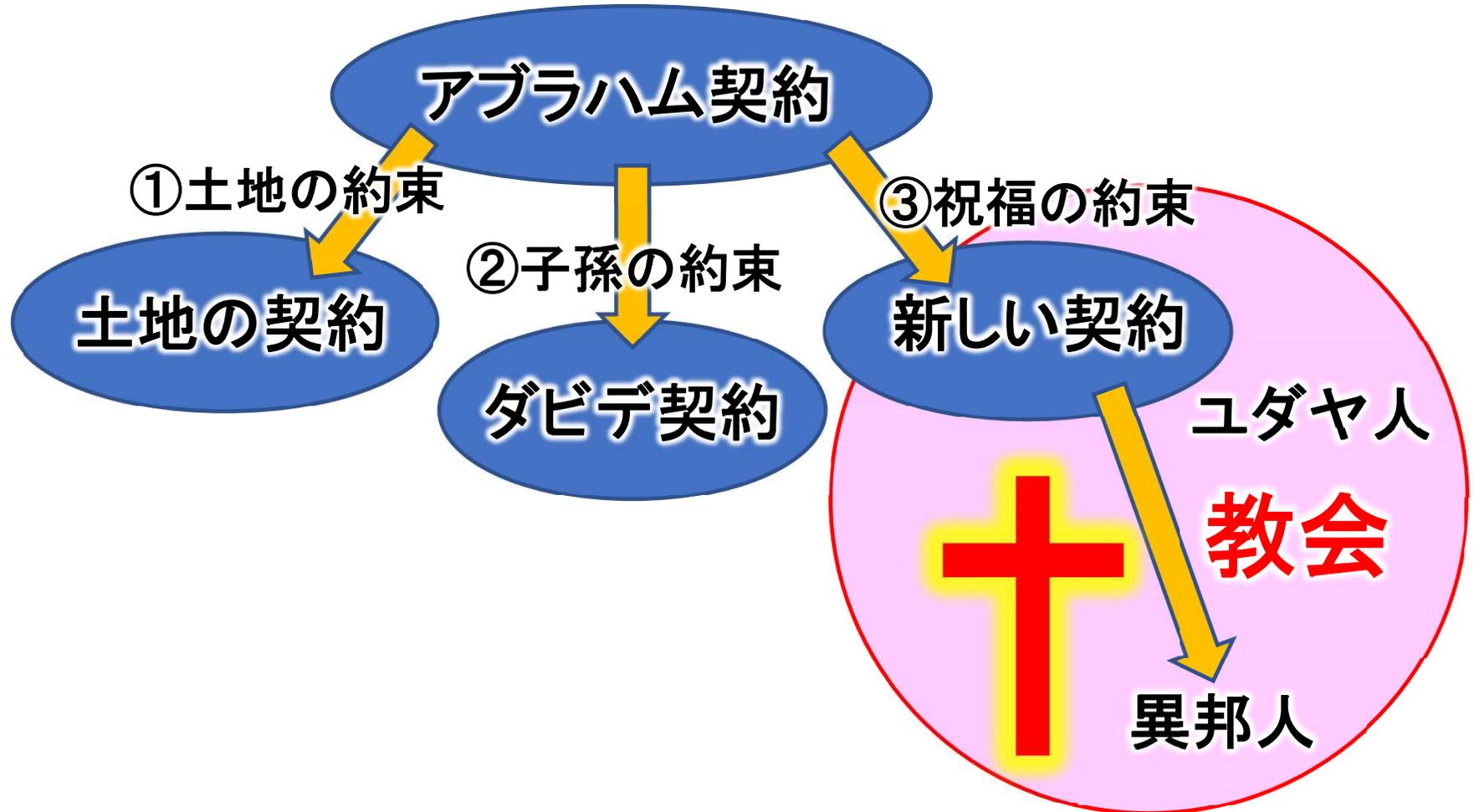
壁・敵意＝律法

キリストの体＝教会

# 【教会とは？】



# 【教会とは？】



## 【聖霊のバプテスマ】 I コリ 12:13

「なぜなら、私たちはみな、ユダヤ人もギリシヤ人も、奴隷も自由人も、一つのからだとなるように、一つの御霊によってバプテスマを受け、そしてすべての者が一つの御霊を飲む者とされたからです。」

- “聖霊のバプテスマ”を受けて、  
“キリストの体である教会”の一員となる。  
➡ 信じて救われた瞬間、  
すべての信者に起こっていること!!



## 【教会とは？】

■教会 ...エクレシア

→「この世から呼び出された会衆」

■教会が指す、二つの意味。

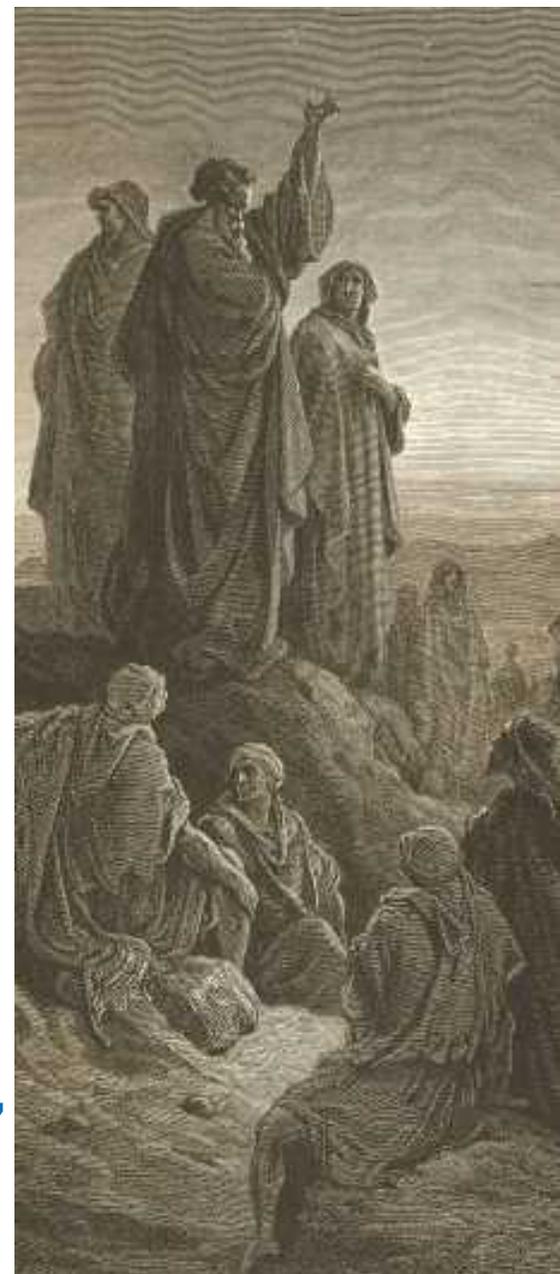
①普遍的教会 ...すべての時代、場所の  
真実の信者全員。

目には見えない教会。

②地域教会 ...特定の地域にある教会  
目に見える教会。

偽の信者も混在している。

※教派・教団も、単立教会も、家の教会も、“**地域教会**”



## 【奥義としての教会】 コロ1:24～26

今、私は、あなたがたのために受ける苦しみを喜びとしています。私は、**キリストのからだ**、すなわち**教会**のために、自分の身をもって、キリストの苦しみの欠けたところを満たしているのです。

私は神から委ねられた務めにしたがって、**教会**に仕える者となりました。あなたがたに**神のことば**を、すなわち、世々の昔から多くの世代にわたって隠されてきて、今は神の聖徒たちに明らかにされた**奥義**を、余すところなく伝えるためです。

この**奥義**が異邦人の間でどれほど栄光に富んだものであるか、神は聖徒たちに知らせたいと思われました。この**奥義**とはあなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。

キリストの体なる教会は

隠されていた奥義



# 【メシア拒否以前に考えられていた神の国】

①永遠の王国 普遍的王国

②霊的な王国 (真の信者たち)

⑤千年王国

モーセ～ゼデキヤ

③神政政治の王国

メシア到来と共に!!

【地上における神の国】

# 【奥義としての王国】 ...メシア拒否以降

①永遠の王国 普遍的王国

②霊的な王国 (真の信者たち)

⑤千年王国

④奥義としての王国

モーセ～ゼデキヤ  
③神政政治の王国

聖霊  
降臨

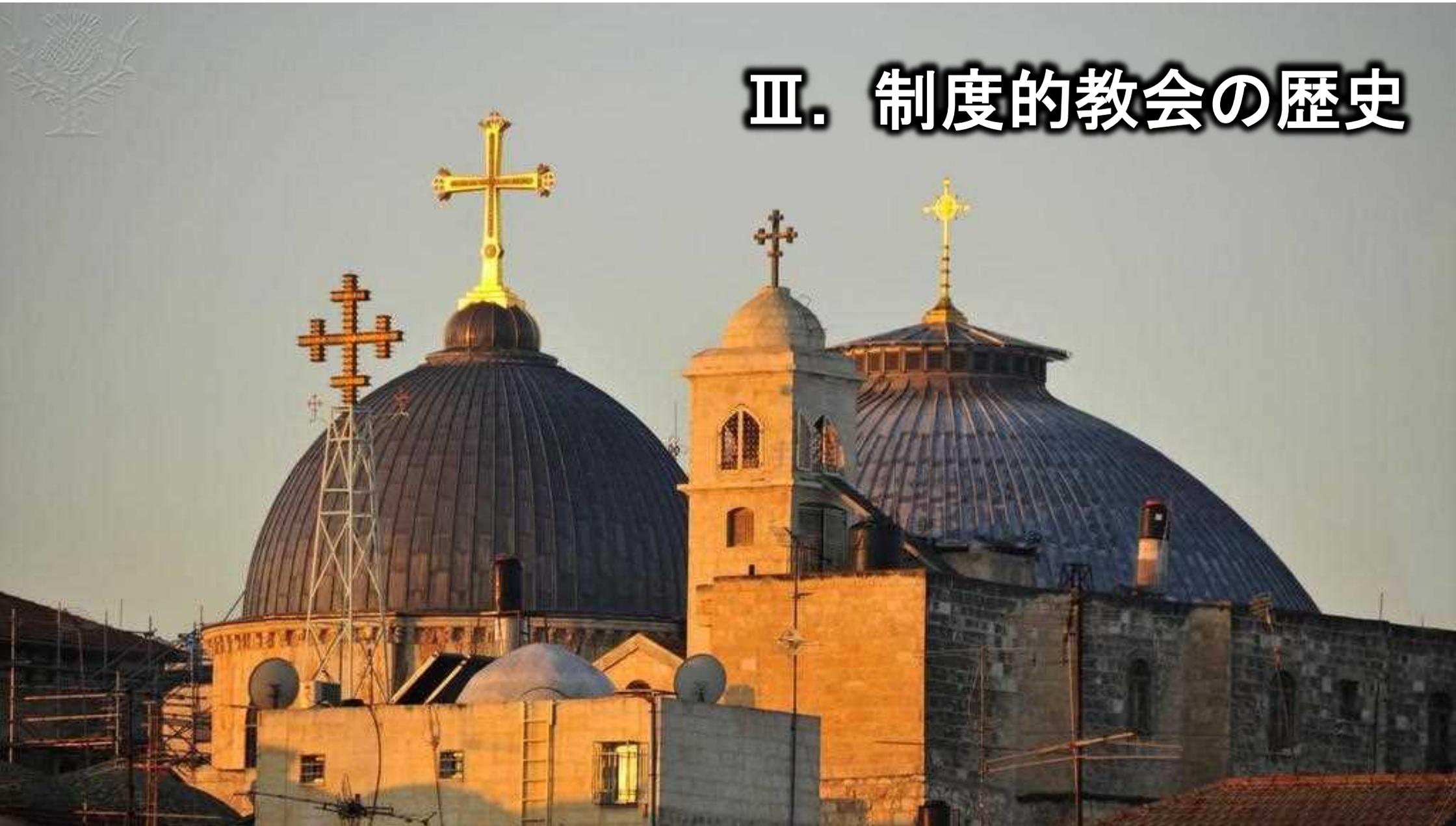
≡教会時代

携挙

普遍的教会とは、聖霊降臨から、携挙まで、福音を信じた人すべて

【地上における神の国】

# Ⅲ. 制度的教会の歴史



## 【現代日本におけるキリスト教会・宗教法人法】

■ 教会規則、総会、名簿・財産目録の書類提出…。

➡ **宗教法人法**が、宗教法人に求めているもの。

## 【宗教団体法から宗教法人法へ】

■ 1940年4月 宗教団体法が施行。

➡ 文部大臣に認可や取り消しの強力な権限が!!

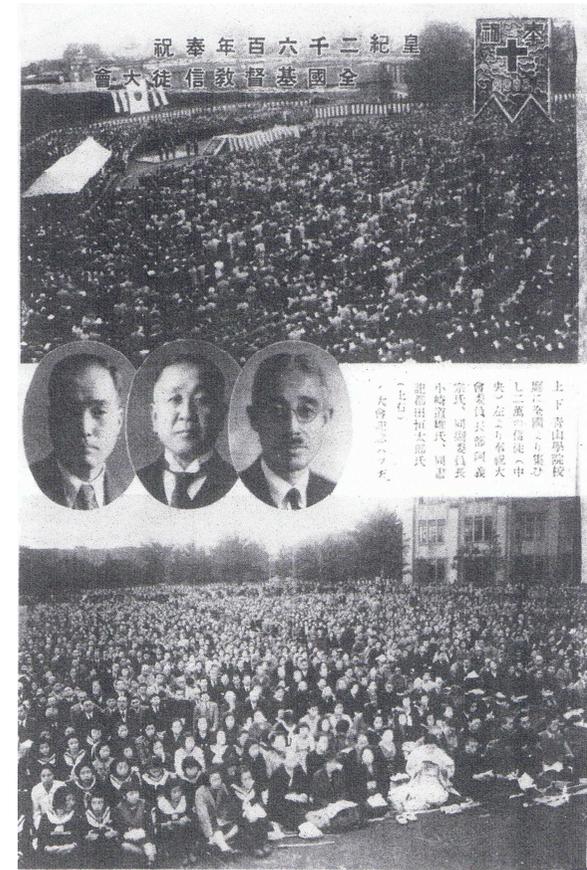
■ 1941年6月 日本基督教団発足

➡ 1941年8月には、太平洋戦争に突入!!

■ 1951年4月 宗教法人法が施行

■ 1996年法改正 ➡ 役員名簿、財産目録などの提出義務が!!

➡ 背景に、オウム真理教によるテロ事件。

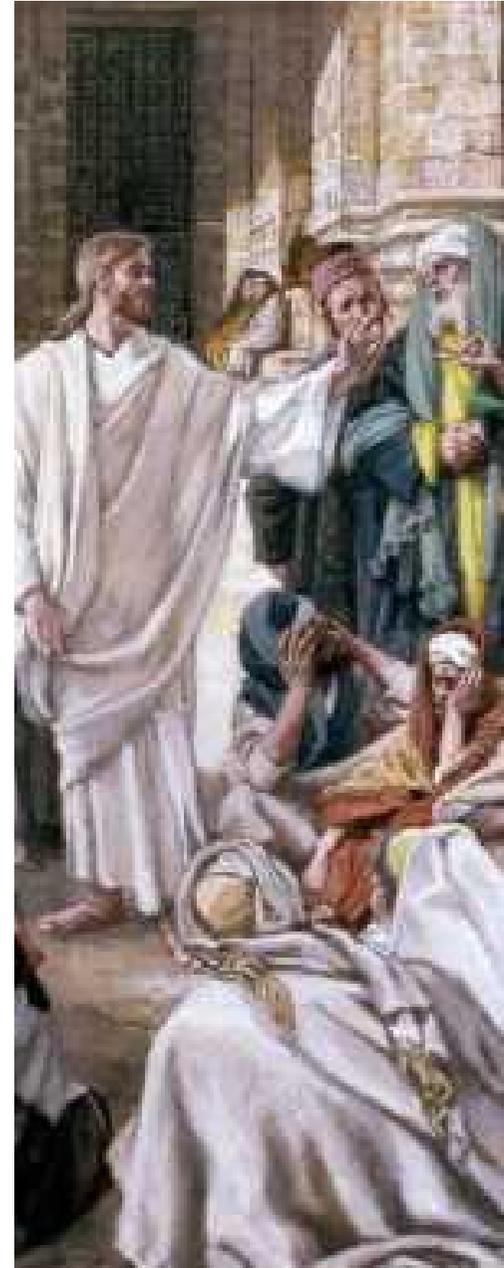


## 【初代教会の時代】

- エルサレムで、イエスの120人の弟子に聖霊降臨。  
その日に5千人が加わる。 ➡最初の教会

「使徒2:46～47 そして、毎日心を一つにして宮に集まり、\*  
家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、  
神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、  
救われる人々を加えて一つにしてくださいました。」

- \* 弟子たちは、神殿で、イエスの教えと聖書を学んでいた。
- 主イエスも、神殿で人々に教えていた。  
マタ 26:55「わたしは毎日、宮で座って教えていた」  
➡聖書の解き明かしが、そのまま伝道になっていた。



## 【初代教会の組織化】

「使徒4:34 彼らの中には、一人も乏しい者がいなかった。地所や家を所有している者はみな、それを売り、その代金を持って来て、4:35 使徒たちの足もとに置いた。その金が、必要に応じてそれぞれに分け与えられたのであった。」

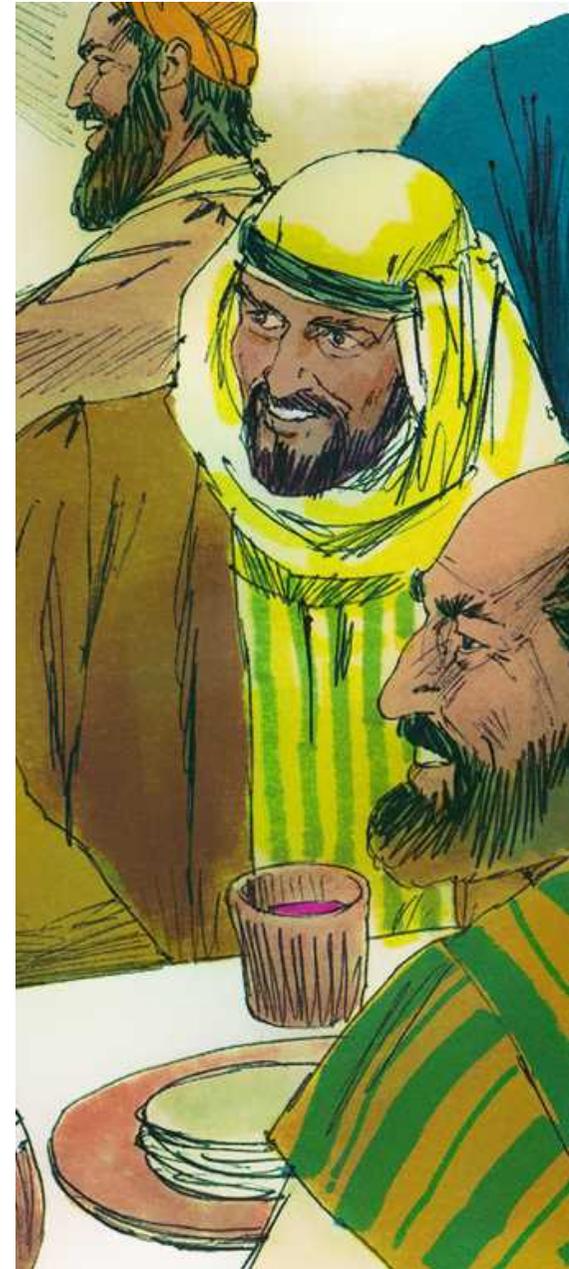
■信者はユダヤ共同体から排斥され、経済活動も困難。

➡エルサレム教会の困窮は進み、後に援助が必要に!!

■ヘブル語を話すユダヤ人(生粋のユダヤ人)とギリシャ語を話すユダヤ人(離散・ディアスポラ)の間で、やもめへの食事の配給を巡るトラブルが。

➡ステファノたち7人の奉仕者を選出した。

「使 6:4 私たちは祈りと、みことばの奉仕に専念します。」



## 【使徒たちの働きは、キリストについて教えること】

### ■エルサレム教会の働き

「使 5:42 そして毎日、宮や家々でイエスがキリストであると教え、宣べ伝えることをやめなかった。」

### ■アンティオキア教会の働き

「使 11:26 彼らは、まる一年の間教会に集い、大勢の人たちを教えた。弟子たちは、アンティオキアで初めて、キリスト者と呼ばれるようになった。」

➡キリストを学び、教える者が、“キリスト者”

### ■ローマにおけるパウロの宣教

「使 28:31 少しもはばかりことなく、また妨げられることもなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストのことを教えた。」





■エルサレム教会は70年に消失。  
■中心となる教会は移り変わり、  
多くの地域教会も消えていった。

エルサレム



地域教会は、起こり、廃れ、移り変わっていく!!

普遍的教会は、広がり、つながり、着実に成長していく!!

- エルサレム教会は70年に消失。
- 中心となる教会は移り変わり、多くの地域教会も消えていった。

アンティオキア

エルサレム

## 【制度的教会の出現】

■ 4世紀以降、ローマによりキリスト教が公認、国教化。

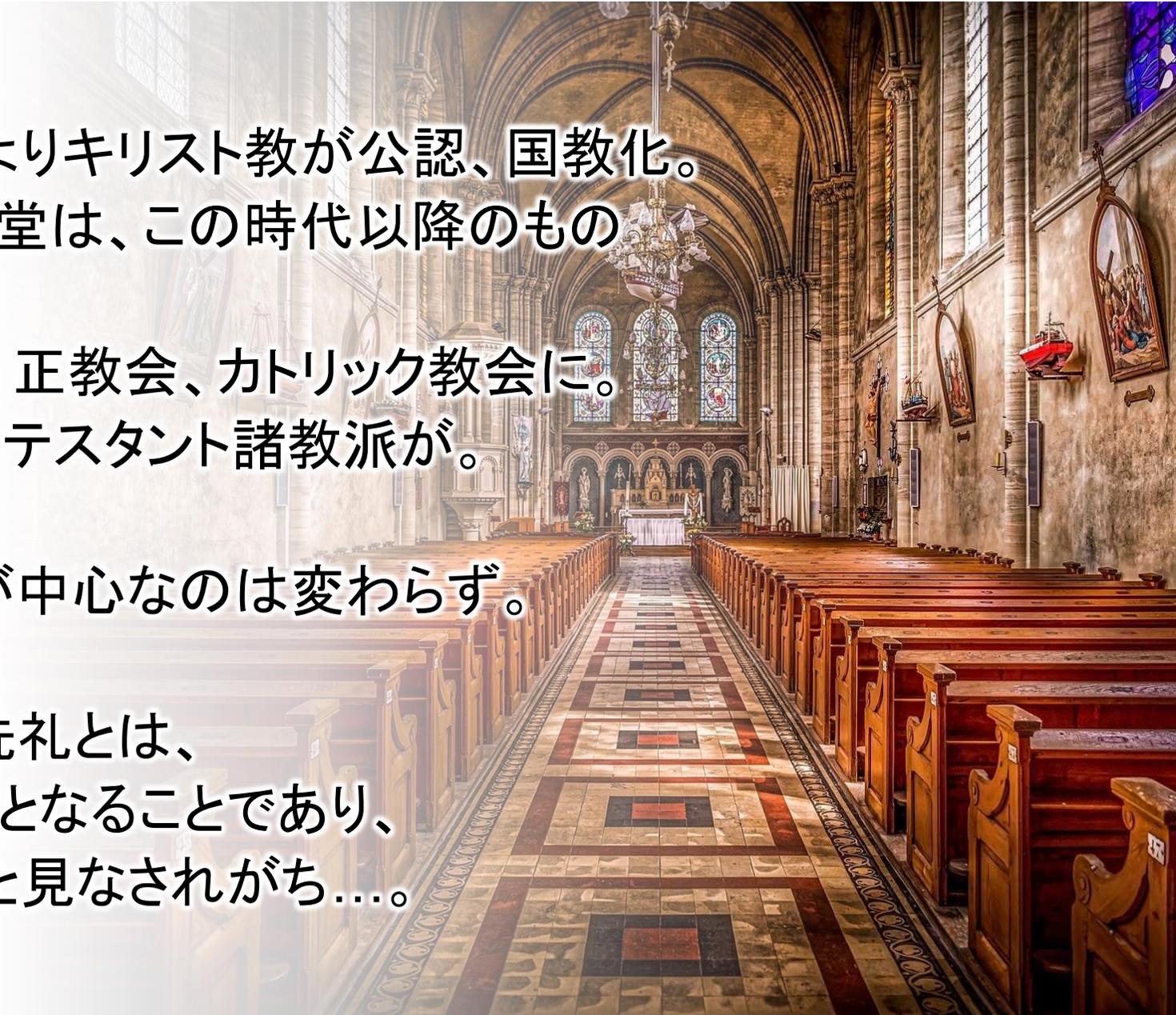
➡ 今あるような教会堂は、この時代以降のもの

■ 11世紀の東西分裂で、正教会、カトリック教会に。

➡ 16世紀には、プロテスタント諸教派が。

■ 国教会、制度的教会が中心なのは変わらず。

■ 制度的教会における洗礼とは、  
制度的教会の教会員となることであり、  
聖餐は、会員の確認と見なされがち....。



## 【儀式中心の礼拝に陥った教会の問題点】

■ 礼拝のほとんどは、定例化した儀式であり、

御言葉の解き明かしは、ほんの10～15分程度。

例) “15分以上は長すぎる” ...とある教団の牧師。

■ 儀式を秘儀として、特別な意味を持たせる教派も多い。

→ 儀式がきよめたり、力を与えるなどと聖書は教えない。

■ 過越祭も聖餐式も、主の業を記念するもの。視覚教材。

「マタ 12:7『わたしが喜びとするのは真実の愛。いけにえではない(ホセア6:6)』とはどういう意味かを知っていたら、あなたがたは、咎のない者たちを不義に定めはしなかったでしょう。」



## 【今、世界的に広がりつつある、家の教会】

■ 初期の地域教会は、家の教会だった。

■ 迫害の厳しい地で、主流となる家の教会。  
中国、イラン、イスラエルなど…。

■ 欧米などキリスト教国でも、増え広がりつつある。  
→ 自発的に集い、ネットなどを活用しての聖書研究。

■ 日本でも。聖書フォーラム運動もその一つ。



## 【聖書フォーラムとは？】

■ともに聖書を学び、教え合う、

ホームチャーチやスモールグループのネットワーク。

(北海道から沖縄まで、そして海外にも、40以上。)

➡自宅、教会堂、公共施設など、場所は様々。

➡地域教会、バイブルスタディグループなど、形も様々。

■各聖書フォーラムは、ハーベスト聖書塾の塾生が代表。

■普遍的教会の立て上げが目標。聖書フォーラムは、地域教会。

■ハーベスト・タイム ミニストリーズ(宣教団体)とは協力関係。

キーマンズは「自分と共生」

# 【聖書フォーラムの理念】

## ■1. 共生のためのABC

### ① 目的(AIM)

神の栄光

### ② 土台(BASIS)

ユダヤ的視点による聖書解釈

ディスペンセーションリズムによる聖書解釈

聖書的イスラエル理解

### ③ 理念(CONCEPT) (...以下の点には例外もあり得る)

自給伝道

家の教会 ...地域教会が参加する例も(※鹿追教会)

ネットワーキング(ネットワーク)

## 【聖書フォーラムの理念】

### 2. 自立への道 — 教会の病理現象からの脱却

#### ① 形式主義から自由へ

キリストにある自由 愛を働かせるための自由

#### ② 権威主義から自治へ

自給伝道 自主運営

#### ③ 伝統主義から変革へ

ユダヤ的聖書解釈 神の国の視点

#### ④ 内向き志向から外向き志向へ

キリスト教信仰を世界観、歴史観としてとらえる。

#### ⑤ 会員志向から流動志向へ

歴史の流れと社会の現状を読む。 自らの動機の再確認

## IV. 使命から考える教会のありよう



## 【大宣教命令に学ぶ教会の使命】 マタイ28:19～20

「ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

### ■主イエスから、教会への4つの命令

- ① 行きなさい ➡ 世に出て行く
- ② 弟子としなさい ➡ キリストの弟子にする
- ③ バプテスマしなさい ➡ キリストに染め上げる
- ④ 教えなさい ➡ 神の計画の全貌を教える



## 【大宣教命令に学ぶ教会の使命】 マタイ28:19～20

### ■主イエスから、普遍的教会への4つの命令

- ① 行きなさい ➡ 世に出て行く
- ② 弟子としなさい ➡ キリストの弟子として育まれていく
- ③ バプテスマしなさい ➡ キリストに染め上げる
- ④ 教えなさい ➡ 神の計画の全貌を教える

### ■逆のことを行っていないか？

- ① 教会堂に来なさい
- ② 弟子教育は、神学校にまかせなさい
- ③ この教会の会員になりなさい
- ④ 牧師だけに教えさせなさい



## 【ひとりでに育つ神の国・教会】マル4:26～29

またイエスは言われた。「神の国はこのようなものです。人が地に種を蒔くと、夜昼、寝たり起きたりしているうちに種は芽を出して育ちますが、どのようにしてそうなるのか、その人は知りません。地はひとりでに実をならせ、初めに苗、次に穂、次に多くの実が穂にできます。実が熟すと、すぐに鎌を入れます。収穫の 때가来たからです。」

■ 教会(畑)を育むのは、人ではなく、主イエスご自身。  
種(御言葉)の内に、主の命があり、力がある。

■ 聖書を、聖書全体の文脈に従って、解き明かしていくなら、  
キリストの弟子は、自ずと育まれ、教会が成長していく。



## 【教会の必要は主が満たされる】 マタイ6:33

「まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。」

### ■ 神の国と神の義

➡ 再臨の主イエスによって実現される神の国。  
千年王国、そして、新天新地。

### ■ 神の御計画の全貌を理解し、再び来られる主を待ち望む。

➡ この使命に遣わされるなら、  
宣教のための必要は、すべて満たされていく!!



## 【使命に立つ地域教会とは？】

■常に何より優先すべきは、福音宣教と聖書研究

★福音宣教 ...福音を伝える。

★聖書研究 ...御言葉の解き明かし。

聖書全体を、ヘブル的視点で学ぶ。

■使命を失えば、地域教会は、たちまち死んでしまう。

★教会の組織、規約は、教会の使命を果たすためのもの

その組織、規約は、教会が使命に立つ支えとなっているか？

➡この問いをもって、具体的な組織、規約を考えていこう。